



長浜市・湖北地域方面での宿泊研修を実施しました!

「長浜市・湖北地域方面の医療と歴史・文化を学ぶ」と題し、3月14日(木)～15日(金)に春休み休暇期間を利用して、認定NPO法人滋賀医療人育成協力機構及び滋賀県医師キャリアサポートセンターと協同で宿泊研修を実施しました。4年半振りに一泊二日で実施し、本学学生13名(医学生12名、看護学生1名)と滋賀県立大学から2名、自治医科大学から1名の参加もあり総勢16名での研修となりました。

中河内診療所・中之郷診療所

滋賀県最北の診療所である中河内診療所と中之郷診療所に東野克巳副院長、浦山先生、影山先生のご案内で訪問させていただきました。東野克巳副院長から診療所の特徴などお話しいただきました。



この研修で訪れた滋賀県北部の医療機関はどれも印象的で、その土地に暮らす人たちの健康を守る上で欠かせない役割を担っていると実感できました。医学科 第1学年

湖北方面の暮らしや街に合わせた医療体制などを知ることができました。医学科 第1学年



長浜赤十字病院

楠井院長から長浜市の医療についてお話しいただきながら、ご挨拶いただきました。施設見学を行っていただいた後、江川副院長から病院の概要についてご説明いただきました。最後に医学科・看護学科に分かれて本学卒業生の方と研修を行いました。



先輩医師からのリアルな病院事情や働き方の話など聞くことができ、医師として働く将来への想像ができました。医学科 第1学年

長浜市 WS

研修初の試みで行政主催のワークショップを行いました。少子高齢化の問題について行政・学生・教職員で意見交換を行いました。

医療と市政は繋がりがあるとは言いつつも、医療に携わる者としては、大きく市政に関与することはないと考えていたが、医療は市政における大きな一要素であり、特に地域医療においては、市政の方針に対応した医療が求められる。医学科 第2学年



未来の湖北地域の住民の安心安全を見据えたあり方の探究がされている様子を見ることができました。その際には、単に医療に留まることのない広い視点、多様な価値観、想像力が重要だと考えられます。医学科 第2学年

湖北病院

湖北病院が管理する2カ所の診療所から戻り、湖北病院にて研修を行いました。久田先生から病院の概要や地域活動状況についてご説明いただきました。また看護部長より地域の見所なども含め、地域包括ケアシステム、看護師の働き方などご説明いただきました。地域の方とのふれあいを大切にされているお話しをしていただきました。



地域の医療体制を知り、それぞれと連携しながら地域全体で患者さんを診る必要があるということを知ることが出来た。医学科 第2学年

学校の授業の実習として地域医療を学ぶより、実際に現地に行き、その土地の雰囲気や住民の方と交流することができるので、どのような医療がその地域に適しているのかなど学校とは異なった様々な視点で地域医療について考えることができました。人間看護学部 1年

交流会 *グランパレー京岩

浅見長浜市長より開会の御挨拶をいただき、是非長浜市で医師・看護師として活躍していただきたいとお話がありました。また、訪問先の関係者の方々や行政の方々、里親の先生方、プチ里親の方にご参加いただき、学生と交流をはかっていただきました。貴重な意見交換、懇談の場となりました。



市立長浜病院

研修の最後に市立長浜病院を訪問させていただきました。高折院長から病院の概要についてご説明いただき、医療に対する姿勢を見てもらいたいとお話しいただきました。また、本学卒業生の研修医の先生や看護師の方に質問させていただき、丁寧に回答いただきました。



地域の課題や単なる医療行為だけではない地域における医療の役割について考えを深める良い機会となりました。医学科 第1学年

同じ地域でも各病院にそれぞれの特徴があり、どのような分野に力を入れており、ホスピタリティが異なっていることを知ることができ非常に面白かったです。人間看護学部 1年

里親学生支援のホームページ (<https://www.shiga-med.ac.jp/~satooya/>) をご覧ください!

研修の様子は里親HPにも詳しく掲載しています!!

